

第 9 編

水 道

— 内 容 —

- 1 上水道事業…………… 109
- 2 下水道計画…………… 109
- 3 施設の概要…………… 111
- 4 料 金…………… 113
- 5 決 算…………… 113

## 1 上水道事業

入間市の水道事業は、昭和29年の創設から50年以上が経過し、現在では市民生活や事業活動に不可欠なライフラインとして市内全域に普及しています。第6次入間市総合計画のなかでも、住みやすく緑豊かなまちづくりのための施策の一つとして位置づけられており、安全で安定した水道水の供給のため計画的な事業推進を行っています。

昭和31年4月から給水を開始し、昭和39年4月からの第一期拡張事業、昭和46年からの第二期拡張事業、昭和58年5月からの第三期拡張事業、平成5年4月から第四期拡張事業を実施し、平成22年3月に完了しました。現在は、平成29年3月に策定した入間市の水道事業の中長期的な計画である「入間市新水道ビジョン」に基づき事業を進めています。

## 2 下水道計画

### (1) 公共下水道事業

#### ア 事業の概要

令和2年4月1日現在

全 体 計 画 面 積		2,791ha
全 体 計 画 処 理 人 口		140,900人
汚 水	事 業 計 画 面 積	1,644.4ha
	計 画 処 理 人 口	124,630人
	主 要 な 管 渠 の 総 延 長	43,500m
雨 水	事 業 計 画 面 積	965.0ha
	主 要 な 管 渠 の 総 延 長	14,940m

#### イ 処理分區別面積及び人口

令和2年4月1日現在

処理分区分名	全 体 計 画 区 域		事 業 計 画 区 域	
	面 積 (ha)	人 口 (人)	面 積 (ha)	人 口 (人)
久保川第1処理分区分	1,323.5	81,270	845.6	72,830
不老川第1処理分区分	1,467.5	59,630	798.8	51,800
計	2,791.0	140,900	1,644.4	124,630

#### ウ 管渠の整備状況

令和2年4月1日現在

区 分	事業計画面積	整備面積	整備率
汚 水	1,644.4ha	1,577.1ha	95.9%
雨 水	965.0ha	351.1ha	36.4%

エ 水洗化普及状況

令和2年4月1日現在

行政人口 (A)	147,542人
処理区域面積 (B)	1,577.1ha
処理区域内人口 (C)	130,672人
普及率 (C/A)	88.6%
水洗化人口 (E)	127,355人
水洗化率 (E/C)	97.5%

(2) 荒川右岸流域下水道事業

ア 事業の概要

計画処理面積	30,777.1ha
計画処理人口	1,574,090人
計画汚水量	789,900m <sup>3</sup> /日 (日最大)
管渠総延長	115,960m
終末処理場	新河岸川水循環センター (和光市) 新河岸川上流水循環センター (川越市)
中継ポンプ場	富士見中継ポンプ場 (富士見市) 他3ヶ所
関係市町	川越市 所沢市 狭山市 入間市 朝霞市 志木市 和光市 新座市 富士見市 ふじみ野市 三芳町 川島町 吉見町 (10市3町)
事業年度	昭和46年度～令和6年度

### 3 施設の概要

#### (1) 鍵山浄水場

所在地	入間市鍵山三丁目5番5号
敷地面積	8,272.21㎡
水源	入間川の伏流水
改築年月	平成19年3月(耐震構造)
計画1日最大取水量	15,000㎡(水利権0.174㎡/秒)
浄水処理方式	凝集沈でん・急速ろ過・粒状活性炭処理方式
管理棟	RC造、中央監視室、ポンプ室など
浄水処理棟	RC造、薬品沈でん池、活性炭接触池など
その他	集合井、薬品注入室など

#### (2) 豊岡配水場

所在地	入間市向陽台一丁目1番地8
敷地面積	10,006.4㎡
水源	県水
受・配水池	PC造 12,000㎡(6,000㎡×2池)
竣工年月	昭和63年4月(耐震構造)
改修年月	平成19年3月(中央監視設備改修) 平成27年2月(電気・機械改修)

#### (3) 扇町屋配水場

所在地	入間市大字下藤沢1303番地
敷地面積	7,103.71㎡
水源	県水・自己水
受・配水池	RC造 10,800㎡(5,400㎡×2池)
竣工年月	昭和49年12月
改修年月	平成25年2月(配水場耐震化) 平成26年2月(電気設備更新)

(4) 東金子配水場

所 在 地	入間市小谷田四丁目536番地2
敷 地 面 積	4,377 m <sup>2</sup>
水 源	県水・自己水
受 ・ 配 水 池	R C 造 6,000 m <sup>3</sup> (3,000 m <sup>3</sup> ×2池)
竣 工 年 月	昭和60年6月
改 修 年 月	平成20年3月 (電気設備更新、配水場耐震化)

(5) 藤沢配水場

所 在 地	入間市大字上藤沢108番地
敷 地 面 積	12,305 m <sup>2</sup>
水 源	県 水
受 ・ 配 水 池	P C 造 16,000 m <sup>3</sup> (8,000 m <sup>3</sup> ×2池)
竣 工 年 月	平成12年3月 (耐震構造)

(6) その他

配 水 場	寺竹配水場
加 圧 場	入間台加圧場
配 水 池	西武第一配水池

#### 4 料金

##### (1) 水道料金（1ヶ月）

用途	基本料金		従量（超過）料金	
	メーター口径 又は使用水量	料金	使用水量	料金 (1 m <sup>3</sup> 単価)
一般用	φ13	250円	1 m <sup>3</sup> から 10 m <sup>3</sup> まで	75円
	φ20	300円		
	φ25	1,250円	10 m <sup>3</sup> を超え 20 m <sup>3</sup> まで	120円
	φ30	2,000円	20 m <sup>3</sup> を超え 40 m <sup>3</sup> まで	170円
	φ40	5,500円	40 m <sup>3</sup> を超え 100 m <sup>3</sup> まで	220円
	φ50	16,500円		
	φ75	20,000円		
	φ100	33,000円	100 m <sup>3</sup> を超え 250 m <sup>3</sup> まで	270円
250 m <sup>3</sup> を超える分			320円	
公衆浴場用	100 m <sup>3</sup> まで	10,000円	100 m <sup>3</sup> を超える分	130円
臨時用		5,500円	1 m <sup>3</sup> から	370円

※平成11年4月1日より適用。金額は、消費税抜き。

※平均家庭（4人家族）φ20で水道料金3,950円/月（1人当り7.5 m<sup>3</sup>使用/月）

#### 4 決算

##### (1) 決算状況

(税込 単位：円)

事業区分 年度	収益的		資本的	
	収入	支出	収入	支出
平成27年度	3,132,778,387	2,621,036,232	103,211,564	1,091,215,881
平成28年度	3,145,044,109	2,535,325,615	88,751,643	1,225,325,925
平成29年度	3,151,131,486	2,544,532,091	129,131,150	1,719,545,241
平成30年度	3,120,348,772	2,652,738,063	151,257,633	1,015,086,702
令和元年度	3,109,615,582	2,713,951,922	347,662,798	1,018,528,579

(2) 業務指標

過去5年間の業務指標

(単位：人、千m<sup>3</sup>、%、円)

区 分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
給水人口	149,232	148,673	148,532	148,237	147,482
配水量	16,592	16,612	16,791	16,572	16,558
有収水量	15,732	15,776	15,794	15,713	15,577
有収率	94.82	94.97	94.06	94.82	94.08
経常収支比率	118.8	122.9	120.8	116.6	113.3
供給単価	153.80	154.63	154.40	153.97	153.31
給水原価	135.84	131.08	133.62	138.35	142.56
料金回収率	113.22	117.97	115.55	111.29	107.54

※経常収支比率は、経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示すものです。

※供給単価は、有収水量1 m<sup>3</sup>当たり、どれ位の収益を得ているかを表すものです。

※給水原価は、有収水量1 m<sup>3</sup>当たり、どれ位の費用がかかっているかを表すものです。

※料金回収率は、給水にかかる費用のうち水道料金で回収する割合を表すものです。